

アクセントに関する誤り



ポーランド語のアクセントについては、「微笑んでポーランド語」の中で既に述べられていますので²⁶、ここではいくつかの現象について述べるにとどめておきます。アクセントにおける誤りは、練習の中ではあまり見られませんでした。しかし、時折見られた例に関しては、なぜ誤りが起こったのか考えてみる価値があるでしょう。



誤りは、アクセントを、単語の中での位置としてではなく、ある特定の音節と結びつけて考えてしまうことによって起こるようです。アクセントに位置が誤っていた単語の全てが、屈折によってアクセントの位置が変化するものでした。いくつかの例を挙げます。



czytam しかし czytałam, czytaliśmy, czytalibyśmy

piszę しかし pisałam, pisaliśmy, pisalibyśmy

pojadę しかし pojechałam, pojechaliśmy, pojechalibyśmy

名詞の格変化もまた、アクセントのある音節が変わる原因となりますが、アクセントそのものの位置は、最後から二番目の音節でいつも同じです。

listopad- listopada

słownik- słownika

program- programu

telewizor- telewizora

kalendarz- kalendarza

lektor- lektora

profesor- profesora

język- języka

²⁶ B. Sieradzka - Baziur, T. Ishii (2004)における「語のアクセント、文のアクセント」(*Akcent wyrazowy, Akcent zdaniowy*) 参照のこと。

problem- problemy

pieniądz- pieniądze

kobiety- kobiet

koperty- kopert

książka- książkami

słowo- słowami

artykuł- artykuły

komputer- komputery

dziewczyny- dziewczyn

gazety- gazet

ręka- rękami

lata- latami